

SpectraView[®] V2

FFTアナライザを超える機能を簡単に実現
データ収録・FFT解析ソフトウェア

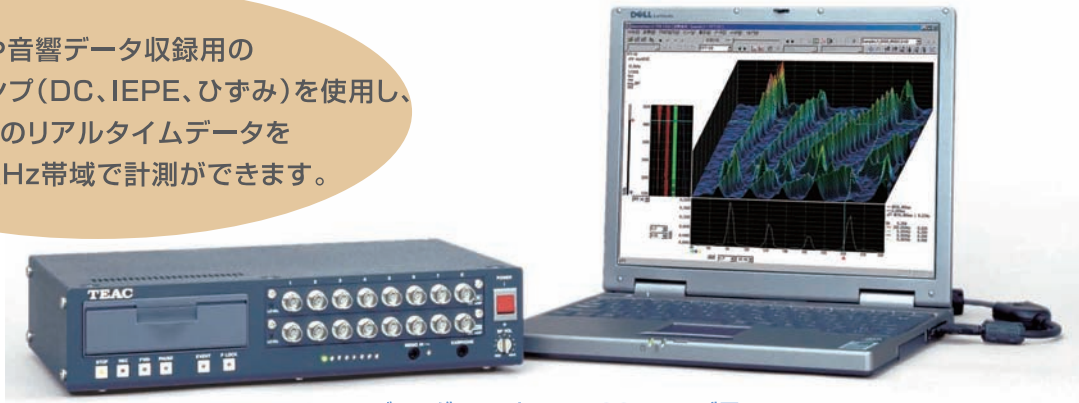
新製品

多チャンネル・多方向から簡単にリアルタイム収録

FFTアナライザを超える

FFT解析ソフトウェア

振動データや音響データ収録用の各種入力アンプ(DC、IEPE、ひずみ)を使用し、最大128chのリアルタイムデータをDCから40kHz帯域で計測ができます。



レコーディングユニット LX-100シリーズ用

■SpectraViewは、電圧入力アンプ、IEPE入力アンプ(アンプ内蔵圧電型加速度センサ)、ストレインアンプを内蔵できる、LXシリーズとパソコンを組み合わせると、最大128chの振動、音響データをリアルタイムに収集、FFT解析を行えます。各種試験データの収集やオーバーホール後の現地試験用機器として役立ちます。

■小型軽量の本体に内蔵した、8/16chから、拡張ユニットを接続して32ch、4台同期オプションで128chまで拡張でき、同時に多数のデータ測定ができ、作業の大幅な効率化が図れます。

LX-100シリーズをダイレクトにコントロール/FFTアナライザを超える機能を簡単に実現

- マニュアル/タイム/ワンショット/リピートトリガを使用でき、3チャンネルのAND/OR条件を組み合わせると、幅広い分野で最適な試験データの収集ができます。
- リアルタイム表示は最大128chまでのT-Yグラフ、X-Yグラフ、バーグラフ、FFTグラフをシングル/マルチ(2~4段3分割)/クロス(上下2段4個)で表示できます。
- 測定データ呼び出して、T-Y、X-Y、FFT2D、FFT3Dグラフ、FFTカラーコンタグラフ表示、印刷、波形演算、フィルタ処理、アベレージング、音声再生、ファイル操作等、多彩な編集処理ができます。

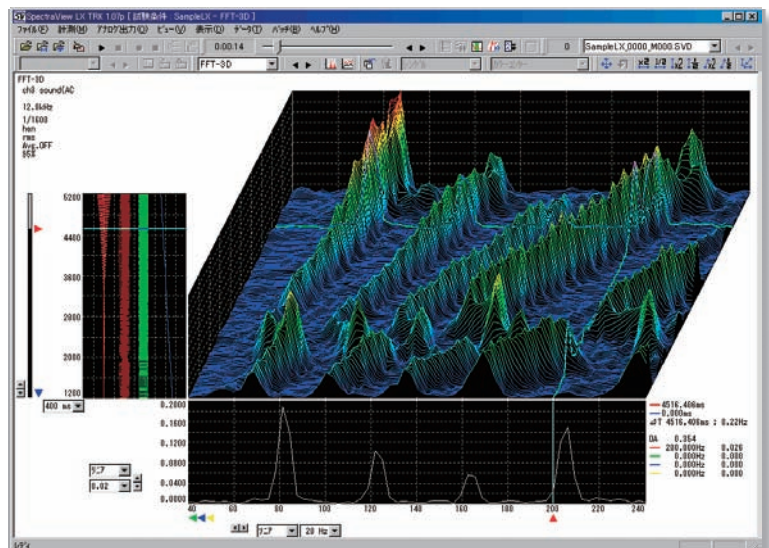


オプション

後処理

回転トラッキング解析
ソフトウェア

FFT3Dグラフ(後処理)



SpectraView V2

スペクトラビューは、TEACのレコーディングユニット「LXシリーズ」とパソコンを、IEEE1394またはEthernetで接続し、振動や音響データ等を収集しながら、リアルタイムFFT解析ができます。この度、多くのお客様のご要望を盛り込み、機能強化を行ないました。新製品の開発や機器保守作業、現地試験に役立つ、各種データの収録、解析用に活用できます。

特徴

リアルタイム計測、FFT解析用ソフトとして自動車、重電、家電業界や研究所で採用されています。

計測部	
サンプリングレート	LX-100シリーズ LX-110, LX-120の仕様をご参照ください
トリガモード	マニュアル(手操作)、タイム(時間指定)、ワンショット、リピート
トリガファンクション	レベル/エッジ、3チャンネルのAND/OR
プレ・ポストトリガ	0~5000m sec、最大9999トリガ
ファイル作成モード	マニュアル(任意指定)、タイム(時間指定) トリガ指定(トリガ単位で作成)
PCカード/メモリーへの記録データの再生処理	LX-100シリーズ本体で計測したデータをパソコンに転送、再生します

*測定条件はロガーのレンジ設定と一緒に登録可能

グラフの表示	
T・Yグラフ	128チャンネル同時表示(グループ登録可能)、rms表示可能
X・Yグラフ	128ライン同時表示(グループ登録可能)
バーグラフ	32本表示(計測時のみ表示可能)
FFTグラフ	最大4チャンネル同時表示(チャンネル切替可能)、ピーク表示可能
FFTカラーカウンター	最大4チャンネル同時表示(チャンネル切替可能)
FFT3Dグラフ	FFT3D+スペクトル+T-Yグラフ FFT3D+スペクトル+T-Yスペクトルグラフ(特定周波数)

*各グラフを組み合わせて7種類(シングル、マルチ、加算)の表示形式を指定することができます。

FFT解析部	
周波数分析レンジ	サンプリングレートの1/2.56
フレーム長	64~32768
窓関数	レクタングュラ、ハニング、フラットトップ、指数ウィンドウ
表示単位	power/peak/rms/p-p/dB
スケール	リニア/ログ
特性補正	A特性、C特性(計測時不可)
平均処理	ピークホールド、加算平均、指数化平均
時間領域関数	自己相関関数、相互相関関数
周波数領域関数	スペクトル、クロススペクトル、コヒーレンス、伝達関数

信号処理部	
波形演算機能	入力データを演算し、仮想チャンネルを作成 各種関数、定数を組み合わせ可能
データ抽出機能	ピーク、最大、最小、平均処理
フィルタ処理	ローパス、ハイパス、バンドパス
ファイル操作	任意区間切り出し(ファイル分割、トリガ分割)
音声再生機能	パソコンのサウンドカードで再生
バッチ処理機能	複数のトリガ計測データに波形演算処理やデータ抽出処理を連続して処理可能
データインポート	TAFFmat(TEACファイル形式)、CSV形式
データエクスポート	計測、演算、FFT結果をCSV形式に変換 TAFFmat形式出力 ダウンサンプリング

※24bitモードは非対応です。

SpectraView



LX-110

LX-120

(タコパルス入力内蔵)

- 「LX-120」の仕様については、別途資料をご参照ください。
- 使用するセンサ、センサアンプ、ソフトウェア詳細仕様については当社にお問い合わせください。
- 本文中の商品名は各社の登録商標です。本仕様はお断りなく変更することがあります。
- 当ソフトウェアの納入立会、個別改造については、当社にお問い合わせください。
当社ではこの他、計測制御系の各種ソフトウェアの受託開発を行います。

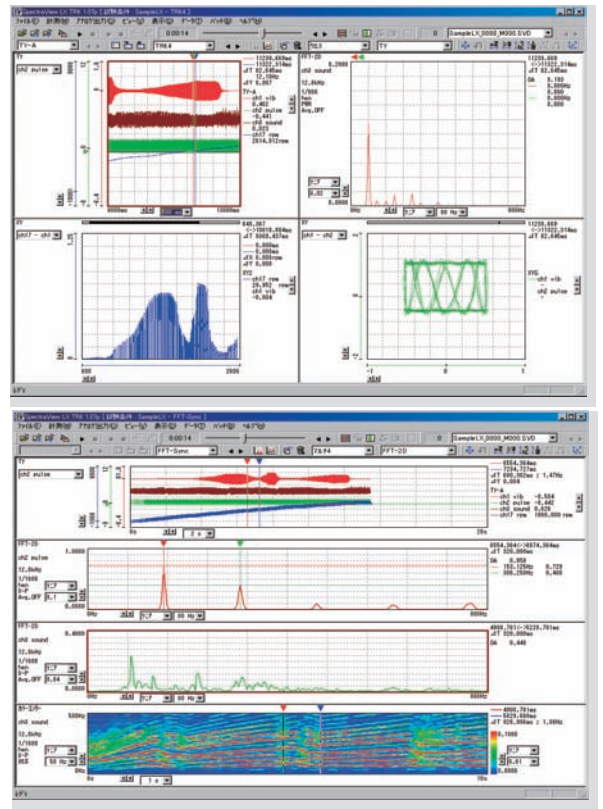
開発元・ソフトウェアお問い合わせ先



株式会社ハビリス システム営業部
〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル
TEL:03(3769)6291 FAX:03(3769)6285
ホームページアドレス <http://www.habilis.co.jp>
「SpectraView」お問い合わせメールアドレス Sales@habilis.co.jp

仕様及び外観は予告なく変更する場合があります。記載の社名及び商品名はそれぞれの各社の登録商標です。このカタログの記載内容は2010年4月のものです。

リアルタイム/後処理グラフ表示例



- オプション
- 後処理トラッキングオプション
- 4台同期オプション

使用機器について

レコーディングユニット LX-100シリーズ LX-110/LX-120 (※1) (※2)
最大32チャンネル(本体16チャンネル+拡張ユニット)、同期オプションで128チャンネル

動作環境

使用OS	Windows XP / 2000 / Windows Vista / 7 (対応予定)
CPU	Pentium IV 以上 推奨
必要メモリー	512MB 以上 推奨
ハードディスク容量	1GB 以上 (計測時間、チャンネルにより決定)
ディスプレイ	カラーXGA (1024×768) 以上
プリンタ	Windows対応プリンタ
インターフェース	IEEE1394カード(PCMCIA/PCI) / 指定カード, LAN
ケーブル	IEEE1394ケーブル/指定ケーブル, LANケーブル

※1 LX-100シリーズの詳細仕様は、別途カタログを参照ください。

※2 後処理トラッキングオプションは、LX-120 タコパルス入力を選択ください。

システム構成価格：お問い合わせください。
セットアップディスク、取扱説明書(納入立会費用を含みます)

注意

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

お問い合わせは